



Chartered on 7th July 1984

The Service Club of the YMCA

The Y's Men's Club of WAKAYAMA-KINOKAWA

# 和歌山紀の川クラブ 2023年 2月 No. 466

Club Office:Wakayama YMCA 1-12-13 Oota Wakayama  
http://kinokawa.ninja-web.net/

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”



クラブ会長 向井貞隆：主題「私の、貴方の、人々の笑顔の為に!!」// 国際会長  
ウルリック・ラウリドセン氏（デンマーク）：主題「輝かそう、あなたの光を」 スロ  
ーガン「良いコミュニケーションは、すべての協力関係の基礎である」//アジア太平洋  
地域会長 Chen Ming Chen（台湾）：主題「新しい時代とともに、エレガントに変化  
を」 スローガン「今すぐ実行を」// 西日本区理事 田上正：主題「原点を知り将来  
に生かす」 スローガン「立ち上げれ ワイズモットーと共に」 // 阪和部長 正野忠  
之：部長標語「10年後の阪和部へ。つなげる。～経験を生かし、目線を活かす～」

## 阪和部新年合同例会

永井 康雅



1月9日(月・祝)ホテルグランヴィア和歌山にて3年振りに和歌山クラブのホ  
ストで開催されました。女性メンバーとメネットの出迎えを受け会場内に。

久しぶりの出会いで参加者どうしの挨拶で盛り上がり、司会者の着席要請  
が何度も繰り返されていました。正野部長の開会点鐘後に各会長によるパナ  
ーセレモニー。来賓として前和歌山クラブメンバー岸本周平和歌山県知事のご  
挨拶。アジア太平洋地域会長チェン・ミン・チェン氏(台北ダウタウン)よりワイ  
ズ100周年記念大会が台北にて3月開催のアピール。田上西日本区理事より  
阪和部の知己の方々の名前が多く挙がり交流の広さを知りました。新入会員  
の紹介では 2021 年度・2022 年度の和歌山クラブ入会者が8名には驚きま  
した。

楽しみの食事時間は交流の場になり賑やかな時を過ごしました。アトラクショ  
ンは「クラリディオン演奏」草野友善氏のクラリネット、寺田ちはるさんのアコー  
ディオンの演奏。静かに聞く人、話に夢中になる人、それぞれに楽しんでいま  
した。

アピールタイムでは田上理事のリードで6月開催の西日本区大会 in 熊本を  
工夫を凝らして大勢の皆様参加をお待ちしていますとアピール。

閉会点鐘は次期阪和部長の内藤氏。挨拶内容は次期阪和部の構想が既に  
出来上がっているようなすばらしいものでした。

コロナ感染症の影響による参加者数はやや少なかったように思いますがや  
はり対面方式の開催は人のつながりを強めます。素晴らしい阪和部新年合同  
例会でした。紀の川クラブ出席者は10名。

会長：向井 貞隆

会計：西岡 弘

書記：土肥 正明

### 聖句

わたしは知った。人間にとって  
最も幸福なのは  
喜び楽しんで一生を送ることだ  
コヘレトの言葉 3:12  
坂本 智 撰

## 2月例会プログラム

### TOF

日時：2月11日(土祝)  
18:00~20:30

場所：YMCA 6F

司会：金城

受付：大谷・山口

プログラム

食前感謝 加志

BF担当 山端・小久保メ

開会点鐘 向井会長

ワイズソング 一同

ゲスト・ビジター紹介 向井会長

EMC研修会 司会 坂本

新会員勧誘体験談 安藤元二様

ディスカッション 全員

新入会員年会費について 大谷

会長報告 向井会長

諸報告・アピール等 関係者

YMCA 報告 藤田担当主事

ハッピーアワー 山本メネット

BFアワーの報告 田中

YMCAの歌 一同

閉会点鐘 向井会長

	在席	出席	メネット	ゲスト	ビジター	メネット	出席率
1月	18	13	5	2	0	2	83.3%
月	名	名	名	名	名	名	%

	BF	ニコニコ献金
1月	3,000円	7,239円
累計	22,750円	28,550円

# 1月例会報告

日時：2023年1月7日（土）  
18：30～20：25

場所：和歌山 YMCA 会館 6階ホール

出席：20名 ゲスト2名：鎌田千賀子様、吉見昌子様  
メン13名：生駒、大谷、坂本、芝本、田中、土肥、永井、西岡、橋野、真弓、向井、山端、志波  
メネット5名：小久保、永井、野崎、西岡、向井

## 1. ゲストスピーチ（鎌田千賀子様、吉見昌子様）



鎌田さんからシュガークラフトの概要をご説明いただいた。鎌田さんは以前、世界大会で優勝された直後に、ゲストスピーカーにお呼びしたことがあります。田中メンのご息女であることは、ご承知の通りです。

吉見さんは鎌田さんにご指導を受けておられ2022ジャパン・ケーキショー東京のシュガークラフト工芸菓子部門で準グランプリを受賞。その受賞作品「雅」をご持参いただき、制作過程等をご説明下さいました。この作品は2年かけて制作。苦しいときも多かったが、今回出品できてよかったとのことでした。

## 2. 会長報告

阪和部新年合同例会(1/9)、中西部合同新年会(1/14)、YMCA わいわいランチ(1/27)、東西日本区交流会(2/4・5)に参加される方よろしく。

## 3. 諸報告

- (1) 次年度体制案について異存なければ、1月言々皆で承認を得る予定。ご意見あればそれまでに。(永井次期会長)
  - (2) 新会員獲得のための年会費については、まずたたき台を作る。(担当：大谷)
4. 各自 新年の抱負を述べた。(別記)
5. ニコニコ献金 7,239円、BF 献金 3,000円。

# 1月言々皆報告

日時：2023年1月13日（金）  
18:30～19:40

場所：和歌山 YMCA 1F 会議室

出席：メン11名：生駒、大谷、加志、金城、坂本、芝本、土肥、永井、西岡、真弓、向井

## 1. 1月例会プログラムについて（2月11日）

- ・例会でEMC研修会を実施する。ゲストに安藤元二様と新入会員1名（和歌山クラブ）

- ・TOFの強調月、食事はおにぎりと味噌汁

## 2. 会長報告

- (1) 阪和部新年合同例会は成功裏に収められた。当クラブから最終的に10名参加。
  - (2) 中西部合同新年例会(1/14)に3名、東西日本区交流会(2/4～5)に2名参加予定。
  - (3) 2月例会の日程を2/11（土）に変更。2月言々皆は2/10（金）で変わりなし。
- ## 3. 次年度のクラブ体制（案）
- 永井次期会長からの体制案を一部修正の上承認。2月例会に諮る。
- ## 4. BF 使用済切手を各自整理した上で2月例会に持参を呼掛ける。
- ## 5. 藤田りかさんの御尊父様ご逝去(1/6)を悼み、クラブから献花料5,000円を贈りました。
- ## 6. YMCA 行事予定
- ワイ！Y！プログラム評価会(1/17)、チャリティラン実行委員会(1/24)、チャリティクリスマスコンサート評価会(1/26)、わいわいランチ(1/27)

## 今年の抱負

生駒義範：昨年度は年男で元気に過ごしました。

今年も健康で元気に過ごし、ゴルフも上達できますように！

大谷 茂：楽しむこと：晩酌、ゴルフ、ワイズ

大谷佐智子：楽しめることをいつまでも楽しめるように日々楽しむ努力？をしよう。

金城清輝：93才になりました。おまけの人生、又一年皆様と楽しく過ごすよう頑張りますので宜しくお願い致します。

加志 勉：一に健康、二に仕事、三はゴルフを頑張る。目指せ二桁！

小久保敏子：今年も1年、運動・仕事・趣味を楽しんで今を大切に過ごしたいと思っています。

坂本 智：新しい1年も、変わらず活動出来るように。忘れ物をしない、丁寧に一年を過ごす事に務めたいと思います。

芝本和己：今までの活動を振り返り、新しい目標を設定、飛躍の年とする!!

志波雅弘：和歌山に帰ってきて早9ヶ月、まだ実生活の再構築が途上ですが、少しでもY's活動、YMCA活動に関わって行ける様ガンバリます。

田中正紀：言語障害をリハビリ努力によって、皆さんに少しでも分かって貰う言語力の向上が目標です。週に1回4Kmを走ります。

土肥正明：正月に天橋立へ日帰りで行ってまいりました。天橋立は別称「飛龍」、対岸を繋ぐ。私自身、内面的にも飛躍できる年にしたいものです。

永井康雅：今年の年賀状に縄文時代の埴生の写真を掲載しました。今年は青森、岩手の古墳をたずねる旅をします。

永井由紀子：ストレッチ1日、一セットを3回する。①つま先上げ10回。②かかと落とし



10回。③スクワット10回する。“継続は力なり”

西岡弘：北海道ちょっと暮らしを8年続けていましたが、コロナで中断。この夏は実現させたい。

西岡妙子：英語の読書会2つと、ジムと、旅ブログ。好きな事が続けられて幸せです。この調子が保てますように。

野崎登美：今年もよろしくお祈りします。コロナ禍の中でも、生き抜いて頑張りました。この調子で行けば何もこわくないでしょう。

橋野正樹：毎年同じですが、買い溜めたCDレコードと本を消化（聴いたり、読んだり）したいと思います。

藤田りか：2023年1月の誕生日で半世紀少女（笑）となりました。良い思い出だけ振り返ることにして前を向いて生きるんだ♪

真弓弘毅：今年も、ボチボチ自分の出来る事を真面目に誠意をもってやります。

松本美子：紀の川クラブの皆様、明けましておめでとうございます。今年も1年元気で過ごせるように頑張ります。

向井貞隆：今年は串本のスペースポート紀伊でロケットが発射されます。我々ワイズメンも今一度勢いをもって新しいチャレンジをしたいです。

向井千恵子：楽しくてワクワクする事をさがし私らしく歩いていきたいです。

山口善平：「できていた事ができなくなる」事態を食い止める。簡単ではないですが心掛けております。

山端克己：喜寿を迎えるにあたり、仕事は出来る限り一線を退き、マイペースで気軽に出来る事だけに絞って行く（希望）

山本絹代：昨年は色々なことがあった。そろそろやりたい放題は止め、静かな普通の日々を大切にしたい。つまらないと思うより、「何をするにも楽しんでみよう。」

## 2月 YMCA 行事予定

【ウェルネス・ランゲージ・学院高校】

- ・2/11～12 ハチ高原スキーキャンプ

【シード】

- ・2/4, 18 サタデークラブ

【介護福祉士科】

- ・2/4, 5, 11, 12, 25, 26

外国人介護人材受入支援事業研修

- ・2/19 入試

【日本語科】

- ・2/18 公開講座

【その他】

- ・2/16～2/28 ピンクシャツキャンペーン
- ・2/22 ピンクシャツデー

## ワイズ創立100周年の歩み（7）

### 変革と再編成の時

#### YMCA との協力関係

世界 YMCA 同盟とワイズメンズクラブ国際協会の関係が密接とは言えなかった時期があり、YMCA の中に生まれたワイズメンズクラブが別の組織であることを互いに認識するために「協力関係の原則」の採択が必要だったのでしょう。しかし、日本区では YMCA とは一体感を持っていたため何故、国際レベルで「協力関係の原則」の採択が必要であるか理解し難いというムードもあった。ワイズメンズクラブと YMCA はそれぞれ独立した団体であることを認識する良い機会だとその意見もあった。最近、東西日本区ロースターに「協力関係の原則」が掲載されるようになりました。是非一度お読みになっていただきたいと思えます。

1981年 国際協会と世界 YMCA 同盟が「協力関係の原則」を採択。

1982年 奈良傳賞の制定。長年ワイズメンズ運動に貢献したワイズメンを毎年の日本区大会時に表彰。

1984年 8月14日和歌山紀の川ワイズメンズクラブの認証状伝達式を開催。初代会長は坂本忠幸氏。

1988年 中西部の分割の検討を進め、阪和部：9クラブ 中西部：8クラブに分割。第58回国際大会が7月国立京都国際会議場で盛大に開催。金城メンがマージナル担当。

1989年 年次代議員会にて「日本区分割を検討する委員会」を設置。「どうしても日本区を分割しなければならない」との共通理解に至るべきであるという坂本忠幸委員に代表される考えを根本として全クラブの論議を呼び起こした。

1992年 第38代森田恵三理事は1997年までに、日本区会員数を3,000人から6,000人に倍増しようと提唱後に「日本区6,000プロジェクトチーム」を結成。

1993年 7月から東西副区制度が始まった。坂本忠幸氏が2代目副区理事に就任。

1994年 日本区分割の提案

1995年 阪神淡路大震災

1996年 2回目の代議員会にて新リージョン設置が決定。

1998年 東日本区・西日本区発足。第1回西日本区大会（佐々木宣夫理事 岡山クラブ）が倉敷市にて。

1999年 第2回西日本区大会（伊藤圭介理事 大阪河内クラブ）を和歌山紀の川ワイズメンズクラブがホスト。

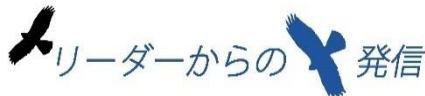
## ピンクシャツデー

スタッフ 永井祐二



毎年 2 月最終水曜日（今年は 2 月 22 日）は、社会全体でいじめに向き合うこと、差別や偏見、分断ではなく、誰もが安心して暮らせる社会の創造をめざ

して、今年度もピンクシャツデーに取り組みます。全国の YMCA では運営する保育施設や学童クラブ、学校やスポーツ教室、語学教室などで、教職員や子どもたちがピンク色の服や小物を身に付けていじめ反対をアピールしているほか、授業やトークイベント等がいじめについて考えを深めたり、商店街などと協働でピンクシャツウォーキングを行ったり。毎年、全国各地で工夫をこらし、さまざまな取り組みを行っています。和歌山 YMCA では 2 月 16 日（木）～2 月 28 日（火）をピンクシャツキャンペーン期間とし、和歌山市内の学校 50 校 731 学級すべての教室にポスターの掲示をします。和歌山 YMCA 会館ではキャンペーン期間に 1 階ロビーをピンクにし、メッセージボードを設置し、メンバー、学生、来館者にメッセージを記入、掲示できるようにします。皆様も来館の際にはメッセージをよろしくお願いいたします。



### “ぴかりーダー” こと 為沢友月

こんにちは。ぴかりーダーです！先月ぶりですね。おそらく、プリテンに寄稿させていただくのは最後になるので、私のリーダー活動を振り返って考えたことを記させていただこうと思います。



私は、大学一年生の 6 月に和歌山 YMCA の活動を知り、足を踏み入れました。私の代は同期が和歌山にはおらず、東京に二人いるという珍しい形の学年でした。はじめは心細いこともありましたが、オンラインで同期と繋がったり、先輩やスタッフさん、後輩たちとより多く関わることで、つながりを感じるようになってきました。最初は活動に手一杯で、楽しむことが出来なかったけれど、回数を重ねていくごとに、子供達とそして仲間たちと過ごすことの楽しさを知ることが出来ました。楽しいことも大変だなと思うことも沢山あったと振り返って思います。しかし、周りの方々に恵まれて、ここまで続けることが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。続けられて良かったと心の底から思います。

ワイズの皆様方にも、ご支援やお声がけをいただき、私は活動を続けることが出来ました。いつ

もありがとうございます。これからも和歌山 YMCA リーダー会の活動のご支援、そして後輩たちをよろしく申し上げます。



- 4日～5日（土日）第3回東西日本区交流会
- 10日（金）言々皆、八朔引き取り・販売
- 11日（土）2月例会&研修会
- 15日（水）後期区部費納入締切
- 18日（土）阪和部第3回評議会



### 「私の人生アーカイブ」

山本 絹代

昔の輝きに満ちた新婚旅行へと旅立つ一枚の写真がでてきた。今の自分でないくらい二人とも若い!!! 夫の夢の片棒を担いですごした歳月は色々あったけれど、思ったより早くやさしい春の風をうけながら心豊かにいられる事に感謝の毎日です。喜寿、傘寿、はるかにかすむ米寿。どの峠まで越えて行けるのか。二人でいられる事に愚痴ではなく感謝の人生を過ごせたらいい。



## 編集後記



久しぶりの大雪だ!! その雪にこの年になっても感激できたことが嬉しかった。我が家の前の道には1週間も雪が残った。この雪がちょっとでも温暖化防止につながればいいのに…。

(大谷メネット記)